

身近なところから始めよう～6月は環境月間～

6月5日は環境の日です。1972年6月5日に「国連人間環境会議」がストックホルムで開催されたことにちなんで定められました。私たちの周りにあるものすべてが環境であり、その環境を守ることは、今を生きる私たちでなく、次の世代、さらにその次の世代の人間の命を守ることにつながる大切な取組だと言えます。

そこで、本校でも、4年生が21日から「こどもエコライフチャレンジ」に取り組みます。この取組は、平成17年度から、地球温暖化対策を家庭からも着実に進めるための取組として、行われています。将来を担う子どもたちが、地球環境に対する理解を深めるとともに、夏休みなどの長期休業中に家族や友達と相談しながら、子どもの視点からライフスタイルを見直し、照明を使わないときはこまめに消すなど、省エネルギーをはじめとする「環境に配慮した生活（エコライフ）」を実践していくというものです。

また、5年生は、24日から花背山の家での長期宿泊学習に出かけます。豊かな自然の中で4日間過ごすことで、花背の自然環境の素晴らしさを実感するとともに、その自然を守ることの大切さもきっと感じてくれることでしょう。

今、私たちの周りには地球温暖化、ごみの問題、化学物質や大気汚染の問題、生物多様性の問題など様々な環境問題が存在しています。子どもたちが、まず、自分の暮らしがこれらの環境問題につながっていることに気づき、環境問題について調べたり、考えたりして、学校や家で自分にできることをこつこつと実行できる人になってほしいと思います。自分たちの力で少し社会をよりよくできるという自己有用感も感じてほしいと思います。このようにして、こどもエコライフチャレンジや花背山の家長期宿泊学習においても、子どもたちの「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を高めていきたいと考えています。

Think Globally Act Locally（地球規模で物事を考え、身近な地域から行動せよ）